

日本司法福祉学会第16回全国大会プレシンポジウム
犯罪・非行当事者による立ち直り支援 —当事者は語る—

「人は何故、罪を犯すのか、非行に走るのか。
何が立ち直りのための力になるのか。
その更生を阻むもの、促進するもの。いま、当事者は発言する」

日時：2015（平成27）年8月8日（土）10:00～12:00

場所：〒169-8050 東京都新宿区西早稲田1-6-1

早稲田大学早稲田キャンパス8号館106号教室

共催：早稲田大学社会安全政策研究所（WIPSS）

日本司法福祉学会

入場料無料
(定員700名)

【報告者略歴】

高坂 朝人（たかさか あさと）氏（NPO法人再非行防止サポートセンター愛知理事長）



広島に生まれる。中学校2年で暴走族に加入、21歳で暴力団準構成員に。窃盗、強盗致傷等で2回少年院に入る。逮捕歴15回。24歳の時に交際中の女性の妊娠、出産を契機に更生を決意。少年事件の付添人活動に取り組み、少年院などでの講演活動で全国を回る。現在、NPO法人理事長として非行少年の再非行防止に取り組みほか、知的障がい者グループホームサービス管理責任者・介護福祉士、愛知県BBS連盟尾張旭BBS会事務局長を務める。32歳。

工藤 良（くどう りょう）氏（NPO法人田川ふれ愛義塾理事長）



福岡に生まれる。中学校2年で暴走族「極連會」に加入、18歳で3代目総長となる。暴走行為などで少年院に入院。22歳の時に覚醒剤の現行犯で逮捕。拘留所の中で更生を決意。ボランティア団体を結成し、かつての仲間と活動を始める。自らの生き立ちやボランティア活動について語り、2003年「NHK青春メッセージ2003全国大会」で大賞を受賞。田川市暴走族離脱促進アドバイザー、田川市青少年健全育成推進員として、保護者や問題を抱えた青少年のサポートや相談活動に取り組み、中学校や高校などでの講演活動で全国を回る。2005年、子どもたちの駆け込み寺「田川ふれ愛義塾」を設立し、学校・社会への復帰や自立を支援するなど、青少年の健全育成に向けた活動を展開。2008年NPO法人田川ふれ愛義塾を設立し、理事長を務め、少年専用の更生保護施設を運営。著書に『逆転のボランティア』がある。38歳。

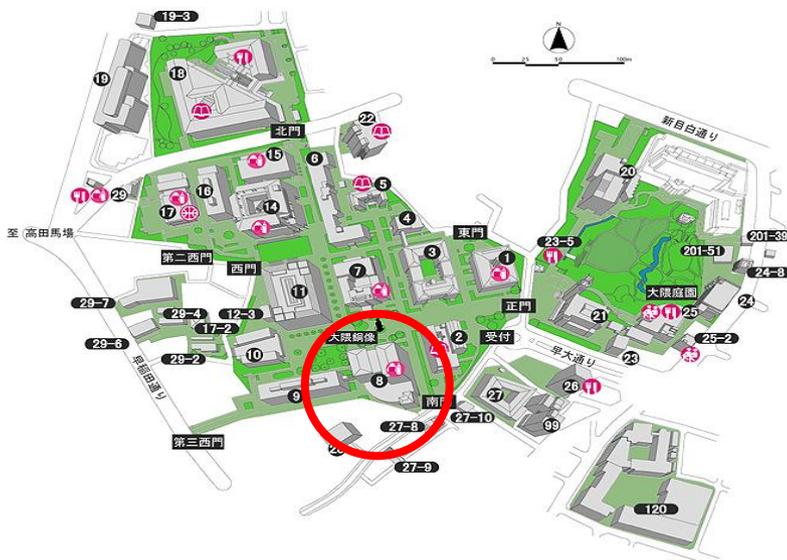
五十嵐 弘志 (いがらし ひろし) 氏 (NPO 法人マザーハウス理事長)



栃木に生まれる。3 回の入所歴があり、受刑中に聖書と出逢い回心、信仰の母をマザーテレサとし、祈りと真の愛を実践するために、非営利団体マザーハウスを設立。受刑者との文通を通して改善更生の支援や、出所者の立ち直りと社会復帰後の生活・住居等の支援のほか、就労支援事業としてコーヒー焙煎販売等の活動をしている。また、刑務所等の現状を知っていただくための講演活動をし、裁判での情状証人や身元引受人にもなっている。現在、社会復帰した元受刑者 20 名以上をサポートし、2014 年 5 月に NPO 法人として登記し、理事長に就任。

「人生は出会いで決まる」がモットー。51 歳。

早稲田キャンパス案内図・交通アクセス



【徒歩の場合】

JR 山手線高田馬場駅から徒歩 20 分
東西線早稲田駅から徒歩 5 分
副都心線西早稲田駅から徒歩 17 分

【バスの場合】

都バス学 02 (学バス)
高田馬場駅ー早大正門
(早大正門バス停車)

日本司法福祉学会全国大会のご案内

同日 13:00 からは同会場にて、日本司法福祉学会第 16 回全国大会「インクルージョンを促進する社会的条件」も開催予定です。

(学会会員:3,000 円、非会員:(学部等学生)1,000 円、(大学院生)2,000 円、(その他)4,000 円)
詳細は、学会 HP (<http://jslfss.org/>) をご参照下さい。

お問い合わせ先

早稲田大学社会安全政策研究所 (Waseda Institute of the Policy of Social Safety)
〒169-8050 東京都新宿区西早稲田 1-6-1 早稲田大学石川正興研究室 (8 号館 1126 号室)
[TEL] 080-2078-1051 [FAX] 03-5286-1324
[e-mail] wipss2007@gmail.com [HP] <http://www.waseda.jp/prj-wipss/>

